

坂野
許權

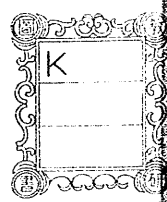
小學初等科

岸田吉

作文書

卷四

藤岡文華堂藏



藤岡文華堂藏

緒言

此書ハ大阪府頒布ノ小學校教則ニ
基キ初等科作文ノ例ヲ記載ス其意
專ラ生徒ヲシテ毛穎脱帽ノ勞ヲ省
カシメント欲スルニ在リ故ニ授業
ノ法方ハ畧シテ之ヲ記サス初等科
ニ從事スル生徒此書ニ就テ習鍊常
ニ怠ラサレハ廢幾ハ必補ナクンハ
アラスト云介

明治十六年五月

編者誌

寫真
作文書

岸田吉興編集

第三級

第七課前級同ジ

絲

絲ハ蠶木綿或ハ麻ニテ製シ衣服ヲ
縫ニ必用ノ品ナリ

豕

豕ハ猪ニ似タル家畜ニシテ食用ト
ナセ且滋養ノ効ハ少シト云フ

錨

錨ハ鉄ニテ造リ大船ノ港内ニ泊ス

作文書

初級

一

ル時漂流夫防グ要具ナリ

蝦

蝦ハ水中ニ生シ人ノ食用トナル海ニ生スルハ大ニシテ川ニ産スルハ小サシ

榎

榎ハ人家ノ迹傍ニ植ルモノニテ頗ル大木多シ

櫂

櫂ハ櫂等ノ堅木ヲ以テ造ル小船ヲ進退スルニ欠ク可カラズ

貝

貝ハ海河等ニ産シ食用トナス人ノ

多ク食スルハ蛤蜊等ナリ

鳥居

鳥居ハ神社ノ門ニシテ多ク木石ニテ造ル稀ニ銅ニテ造ルモアリ

鹽

鹽ハ大小一ナラズ大ナルモノハ衣服ヲ濯ヒ小ナルモノハ手面ヲ洗フ

筭

筭ハ婦人ノ頭ヲ飾リニ用ウ鬘甲ニテ製スルハ貴ク竹木ニテ造ルハ賤シ

篩

篩ハ木片ヲ撓ノ底ニ張ルニ馬尾銅

線等ヲ以テス粉末ヲフルフニ用ウ

紫陽花

紫陽花ハ暑中ニ開ク群花一莖ニ集
リ其形恰モ毬ノ如シ

紫螺

紫螺ハ海中ニ生スル貝ニテ焼テ食
用トス此レヲ壺焼ト云フ味美ナリ

杖

杖ハ老人ノ歩行ヲ扶ル具ニシテ竹木
等ニテ造リ稀ニハ漆ヲ塗リタルモアリ

稗

稗ハ畑ニ作ル穀物ニシテ多クハ山

間僻地ノ人ノ食スルモノナリ

鋏

鋏ハ鍔ヲ鍛ヒテ造リ木ノ柄ヲ附ク
農家第一必用ノ具ナリ

榭

榭ハ山林ニ植ウル木ナリ世俗此葉
ヲ以テ餅ヲ包ム此ヲ榭餅ト云フ

狼

狼ハ深山ニ棲ム其性甚々猛惡ニシ
テ常ニ他ノ獸類ヲ殺シ食フ

竿

竿ハ竹ノ幹ニテ造ル魚ヲ釣ク釣竿

ト云ヒ衣服ヲ干スヲ物干竿ト云フ

雉

雉ハ山林ニ在ル鳥ニシテ羽色殊ニ奇麗ナリ其肉美ニシテ食フベシ

紅葉

紅葉ハ初冬ノ頃木葉ノ霜ヲ帯ビテ紅色ニ變シタルモノヲ云フ

虹

虹ハ小雨ノ時空中ニ現ハル朝ノ虹ハ西ニシテ夕ノ虹ハ東ニ在リ

桃

桃ノ花ハ春開ク其色淡紅ナリ其實

ハ秋熟ス味甘美ナリ

筍

筍ハ竹林中ニ生ス籜ヲ剥テ食物トス最モ美味ナルモノハ孟宗ナリ

鍋

鍋ハ食物ヲ煮ル器ニシテ鍍青銅等ニテ造ル又土ヲ焼キテ造ルモアリ

樽

樽ハ杉植等ノ木ニテ造リ竹ノ箍ヲ嵌ム酒類油等ヲ入ル器ナリ

升

升ハ五穀酒類油等ヲ量ルニ用ウ

其製大小一ナラズ

行燈

行燈ニ二種アリ圓行燈角行燈ト云
フ夜中火ヲ點シテ明ヲ取ル具ナリ

單衣

單衣ハ絹縮緬或ハ木綿等ニテ製
シ薄暑ノ候ニ着スル服ナリ

手袋

手袋ハ莫大小又ハ羅紗ニテ製ス冬
日手ニ嵌メ寒ヲ防モノナリ

蜻蜒

蜻蜒ハ夏日水中ヨリ生スル蟲ナリ

兒童之ヲ捕テ玩弄トス

蜂

蜂ハ小羽蟲ニシテ尾ニ銳刺アリ人
若シ之レニ觸ル、時ハ忽螫ス

蝶

蝶ハ左右各二翅アリテ其種類甚々
多シ皆好ミテ草木ノ花ヲ吸フ

蛇

蛇ハ山野ノ叢中ニ棲ム身細長ニシ
テ鱗アリ好テ蛙ヲ捕リ食フ

蜈蚣

蜈蚣ハ山野ノ石間或ハ朽木ノ中ニ

生ス其足四十二本アリ

蛙

蛙ハ種類甚々多ク水田及ヒ叢中ニ
生ス赤蛙ハ炙リテ食用トナス可シ

梅

梅ノ實ハ夏熟ス生ニテ食スルモノ
有レヒ多クハ塩漬トス即梅子ナリ

椿

椿ノ花ハ春開キ八重一重等アリ且
其色紅白アリテ甚美麗ナリ

山吹

山吹ハ其花黄ニシテ八重一重ノ二

種アリテ此木ハ更ニ實ヲ結ブナシ

熊

熊ハ寒地ノ深山ニ棲ム猛獸ナリ其
膽ハ藥トナシ其皮ハ席トナス

第二課 口上書類

キノウ。デシイリガ。スミマシタ

昨日入学おすこし

ケウハ。オゾシイリニ。ナリマシテ。オノ
テタウ。ゾシマス

今日も入学おすこし

度おす

アスノアサ。カクカウヘ。ホイツシヨニ。
子ガヒマス

の朝学校へ用之紙
有ハ

オカシクサレ

作文書甲乙日之内お借紙

有ハ

オカリ。モウシタ。ホシチ。オカヘシ。モ

オシマス

お借し紙少物返さしん

タハイマカラ。ユホハ。イカ。オタツ子

モウス

長今より遊歩を如何
何ハハ

ゴシユキ。ヒトカゴ。アゲマス

此は村一籠山園ふりけハ

スキナモノヲ。タントクダサレ。アリガタ

ウ。ゾシマス

好抽し泉澤山下まれりなハ

ヒサシク。ゴブサタ。イタシマシタ

久し世々沙汰しお過ハ

コンヤ。オヒマナラ。オイデ。ヌタサレ

冬晩の晴くはる水入来相待ハ

キラハ。イロク。ゴチソロニナリ。アリガ

タフ。ゾンジマス

昨日も種々此れ走り難あり

オヤソクク。コンガスリヲ。アゲマス

此約束し細細白書中

中

アタラシキ。ギウニヲ。スコシ。ワケテ。

アゲマス

新難し牛同少く此配

等

サクラガ。サイタカラ。オイニナサイ

桜花遠く飛ぶ高き出づ

ニハノ。ウメノハナヲ。ヒトニテアゲマス

庭あり梅花一般此月よ

無けい

ミゴトノ。オサカナチ。イ冬キ。アリ

ガタウ。ゾレシマス

見事し山肴下りて

る難くあり

テゴシラヘノ。シンチヤ。スコシバカリ。

アゲマス

多量し新葉は少く

途口

ヒルカラ。ウチナル多テ。スルカラ。オイ

テナサイ

年及より將子孫の世し
以首の入来りて下し

コノワタイレ。マイ、ハヤク、コシラヘテ。多サイ

は給へ二枚早し以仕立下され

反形

カツテ。ナガラ。スグニ。オイデ。

クダカレ

縁のあつらひ即刻のり手あ

と名度少侍中

子ニシノ。イハヒニ。アフギチ。ヒトハユ。

アゲマス

縁のあつらひ即刻のり手あ

きりぎりすの歌

アツキノ。ミマイニ。ウリヒトカゴ。アゲマス

累の中の見寄りとて瓜を

花の目ふりけり

セイボウノ。イハヒニブリ。ヒトツ。アゲマス

葉のさきとて花の儀とて

きりぎりすの歌

オヤクソクク。シンブンヲ。アゲマスカラ

ユルリト。ゴランナサイ

縁のあつらひ即刻のり手あ

と名度少侍中

キノウハト。ユウリナ多。オヒキウツリニ

ナリ。オヌデタク。ゾンジマス

晴日をも山歸りあくるつ穂宅
しや月出る友あり

ドウキウ。オマメデ。トウキヤウカラ。オカヘ
リナサレ。メデタク。ゾンジマス

道中急あくる東京より山
路もも孫重くは難し

オヤクソクノ。ハクランライヘ。アスマイ
リタイガ。ゴツガウハ。イカヒテ。アル

以物系し橋路舎(明日は
回結致しなは都合お伺い

オテガミスコト。セウチシマシタ。クハシ

ク。マイリテ。オハナシモウス

此書面し趣は承り候しは番
御へ奉り上りし趣は

ヤマヒヲ。オタヅ子。クダサレ。アリガナイ。

オヒこ。ヨロシイカラ。アンシンシテ。ク

ダサレ

病氣は心驚りされ有難く
返す快く申さるるは
うれし

ヨシガハノ。アユ。タシト。クダサレ。アリ
ガタク。スグニ。クバマシヨウ

香野川へ香野海へは

と下種なる子と 賞味ニ其

イマカラ。キクミニ。マイリマスカラ。オ

ヒマナラ。イツシヨニユキマシヨウ

此今より菊見よあり後ツ晩

よはりて水田乃中へ種くは

スコシ。オハナシガ。シシイカラ。ゴクロウ

ナガラ。コンヤ。オイデクダヤレ

おくは種後中へ後ありて骨

此是勞ありら今晩此入束

に種行らふ

アスカラ。アリマノ。ユへ。オコシノヨシ。ス

コシナガラ。コノシナ。ゴセンベツニ。アデ

マス

明日有るは泉(水)親し

軽おありては余種く中と

よき種くはあり

ワタシ。マメデ。マイニチ。ケイコヲ。シテ

イマスカラ。ゴアンシン。クダヤレ

此事と種くはありては

致居る骨種ありては

あり

アスハウジガミノ。マツリガ。アルカラ。コド

モシユ。ツレテ。アキカラ。オイデ。クダヤレ

明日は氏神祭礼有る

極方此のまじり早朝より
の出てきたるを侍りて

テヅクリノムキガケ。アジハ。マヅカ。
ヒト、クリ。アゲマス。オウケトリ。多
サレ

多製と云酒風味如何
はる云一獲多きやいふ要る
可くも

テ、イ。ヒトリ。マトイタイ。オユ、ロアタ
リガ。アルナラ。オセワタサレ

長一人雇入るは骨つら
はるはつ河を往りされ

新古今

アタラシイ。ガコヲ。モラツタカラ。スコシ
アゲマス。ゴシユ。サカナニ。シテクダサレ

新解と雜魚の事の中
はるはつ河を往りされ
はるはつ河を往りされ
キノウ。シケン。ト、コホリナク。キウダ
イ。シマシタカラ。オシラセマウス

時日と定朝試終
及第叙し骨を敢すはあ
はるはつ河を往りされ

アサツテハ。セウガカウデ。ソツゲウ。シヨ

K1108

作文書
初等

ウシヨヲ。オワタシニナリマス。オタカイニ。
メデタク。ソンジマス

の後は小学校より卒業
証書済一冊一冊由り
目出度存一冊

初等
作文書第四終

明治十六年四月廿六日 御願
全 十六年五月十二日 版權免許
全 年六月十日 出版

編輯人 大阪府平民 岸田吉興

大和國葛下郡竹森村
四十八番地

出版人 大阪府平民 藤田伊三郎

大和國高市郡八木村一
百廿四番地